

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 明照会	代表者	理事長 河原 至誓	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限りご利用様のご要望に応じ、ご利用時間の調整を致します。</li> <li>・ご家族送迎であれば早朝から夜までのご利用も可能です。</li> <li>・地域密着型特養併設のため、クラブ活動や季節の行事も充実しています。</li> <li>・理学療法士による個別リハビリメニューの実施により、ADLの向上を図ります。</li> <li>・同一法人内の様々な事業所と連携することにより、安心して生活していただけます。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能型居宅 あそか苑ももは	管理者	榎本 美奈子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	2人	1人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			利用者の生活全般についてもっと深く知る必要があるという意見が多かった。	日課票や個別シートを活用し、利用者の状態を把握する。
B. 事業所のしつらえ・環境	月に1回、利用者と一緒に食事作りをおこなう。	毎月1回「調理の日」を設け、利用者メニューを決め、当日は食材を切ってもらするなど調理をおこなっている。	利用者・家族共にきちんと、又親しみのある笑顔で接しておられる。ももはは、バラ公園に隣接し素晴らしい環境に恵まれ、季節毎に郊外散歩・レクリエーションとして生活に取り入れている。	家族や地域の方が、気軽に事業所に入りやすい環境を整る。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の住民向けの講習会を開催する。	地域や利用者家族に向けて和菓子職人を講師に招き、和菓子作り教室を開催した。	地域との関わりについて、本年度のみに関わらず常に地域ぐるみで行事（夏祭り・餅つき等）を積極的に実施している。又、職員は地域行事に積極的に参加している。	地域の住民向けの講習会を定期的に開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域での生活を継続する為に基本通いを中心とするサービスをおこないながら、ご希望により訪問・泊りサービスを提供する。	独居の利用者には、訪問看護師との連絡ノートに状態を書いたり、地域の訪問や宗教関係の方・民生委員との関わりも大切にしている。	利用者の大半が車椅子利用や認知症の方が多く、地域の方との交流については施設外での交流は難しいが、地域の方を招いての交流を図る方法で実施出来ている。	自宅訪問時や通いの送迎時に家族や近隣住民との関わりで情報収集をおこなう。 買い物代行するのではなく、近隣商業施設へ一緒に出かける。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に積極的に参加することにより、事業所地域の情報をキャッチし、活動に活かす。	運営推進会議では、活動報告や今後の予定を報告している。地域の行事等の情報を収集することで、利用者の地域行事への参加を積極的におこなっている。	利用者の健康についてなど行政サイドの関係者にも推進会議の定期出席をお願いされ、取組姿勢を積極的にアピールし、その結果を職員全体にフィードバックし利用者のケアに努めている。	地域と積極的に協働し必要とされ、何でも相談や意見を言える拠点となる。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の防災訓練を併設施設と協働し、おこなう。	年2回の防災訓練を併設の特養やサービス付き高齢者住宅と協働して実施できるよう訓練している。心肺蘇生法の訓練もおこなっている。	創設開苑してまだ4年目の施設で防災施設の点検も確実に実施し、非常口も完備し年度の避難訓練・AEDの訓練修得（職員）も確実に実施されている。	消防訓練に地域の方にも参加して頂き、地域ぐるみで事業所の防災に努める。